

需給調整市場各リスト・パターン等受領業務ビジネスプロトコル標準規格 (旧)	需給調整市場各リスト・パターン等受領業務ビジネスプロトコル標準規格 (新)	備 考
需給調整市場各リスト・パターン等 受領業務ビジネスプロトコル標準規格 (Ver. 3A) 2024年 2月 電力広域的運営推進機関	需給調整市場各リスト・パターン等 受領業務ビジネスプロトコル標準規格 (Ver. 3A) 2025年 8月 電力広域的運営推進機関	年月更新

需給調整市場各リスト・パターン等受領業務ビジネスプロトコル標準規格（旧）	需給調整市場各リスト・パターン等受領業務ビジネスプロトコル標準規格（新）	備 考
はじめに 現在、産業界においては、産業の情報化の進展に伴い、業務の迅速化、高精度化、低コスト化を実現するために広く認められた標準を使用して、関係する企業および業界間でデータの電子的な相互交換を行うEDI (Electronic Data Interchange) が行なわれており、各業界内だけでなく業際大でもその推進活動が活発化してきている。 そこで、今般、電力広域的運営推進機関(以下「本機関」という。))は、業務規程に基づき、広く意見募集を実施し系統利用者の意見聴取を行うとともに、全ての一般電気事業者の送配電部門、並びに複数の特定規模電気事業者および発電設備設置者と協議の上、本機関と一般送配電事業者(以下「送配電事業者」という。)、小売電気事業者、発電事業者、アグリゲーションコーディネータ等の間でEDIを行う際に必要となる事項の内、需給調整市場取引規程等に基づき行う需給調整市場各リスト・パターン等を提出する際のビジネスプロトコルの標準として、「需給調整市場各リスト・パターン等受領業務ビジネスプロトコル標準規格」(以下、「本規格」という。)を制定する。	はじめに 現在、産業界においては、産業の情報化の進展に伴い、業務の迅速化、高精度化、低コスト化を実現するために広く認められた標準を使用して、関係する企業および業界間でデータの電子的な相互交換を行うEDI (Electronic Data Interchange) が行なわれており、各業界内だけでなく業際大でもその推進活動が活発化してきている。 そこで、今般、電力広域的運営推進機関(以下「本機関」という。))は、業務規程に基づき、広く意見募集を実施し系統利用者の意見聴取を行うとともに、全ての一般電気事業者の送配電部門、並びに複数の特定規模電気事業者および発電設備設置者と協議の上、本機関と一般送配電事業者(以下「送配電事業者」という。)、小売電気事業者、発電事業者、アグリゲーションコーディネータ等の間でEDIを行う際に必要となる事項の内、需給調整市場取引規程等に基づき行う需給調整市場各リスト・パターン等を提出する際のビジネスプロトコルの標準として、「需給調整市場各リスト・パターン等受領業務ビジネスプロトコル標準規格」(以下、「本規格」という。)を制定する。	

需給調整市場各リスト・パターン等受領業務ビジネスプロトコル標準規格（旧）				需給調整市場各リスト・パターン等受領業務ビジネスプロトコル標準規格（新）				備 考
[改定履歴]				[改定履歴]				改定内 容を追記
BPID版	制(改)定年月日	制(改)定概要	備考	BPID版	制(改)定年月日	制(改)定概要	備考	
3A	2019年1月31日	新規制定 BPID機関コード:”OCTO” BPID副機関コード:”W9”		3A	2019年1月31日	新規制定 BPID機関コード:”OCTO” BPID副機関コード:”W9”		
3A	2020年9月25日	・小売電気事業者名称のタグ名修正 ・誤記修正 はじめに および P5 表2－1内の1－1 「取引規定等」⇒「取引規程等」 ・需要家リスト・パターン番号の属性修正 P14 N(2)⇒X(2) ・小売電気事業者名称のタグ名修正 P14 JP06367⇒JP06317		3A	2020年9月25日	・小売電気事業者名称のタグ名修正 ・誤記修正 はじめに および P5 表2－1内の1－1 「取引規定等」⇒「取引規程等」 ・需要家リスト・パターン番号の属性修正 P14 N(2)⇒X(2) ・小売電気事業者名称のタグ名修正 P14 JP06367⇒JP06317		
3A	2021年4月28日	商品区分三次調整力①追加		3A	2021年4月28日	商品区分三次調整力①追加		
3A	2022年7月27日	三次調整力②分の需要家リスト・パターンを各リスト・パターンに修正		3A	2022年7月27日	三次調整力②分の需要家リスト・パターンを各リスト・パターンに修正		
3A	2023年4月24日	・週間市場商品区分追加(一次・二次①・二次②) ・三次調整力①分の需要家リスト・パターンを週間市場商品の各リスト・パターンに修正		3A	2023年4月24日	・週間市場商品区分追加(一次・二次①・二次②) ・三次調整力①分の需要家リスト・パターンを週間市場商品の各リスト・パターンに修正		
				3A	2025年8月**日	・「週間市場」を「一次～三次①・複合市場(略称:複合市場)」に変更 ・複合市場および三次調整力②市場の情報区分コードを”0232”に統合 ・各リスト・パターン数、リソース数の登録上限を変更 ・「ネガワット」、「ポジワット」毎の繰り返しを「ネガワット・ポジワット・ネガポジ」統合の繰り返しに変更		

需給調整市場各リスト・パターン等受領業務ビジネスプロトコル標準規格 (旧)	需給調整市場各リスト・パターン等受領業務ビジネスプロトコル標準規格 (新)	備 考
目次	目次	
1. 業務概要4	1. 業務概要4	
1. 1 業務目的4	1. 1 業務目的4	
1. 2 対象業務4	1. 2 対象業務4	
1. 3 業務イメージ4	1. 3 業務イメージ4	
2. 業務プロセス5	2. 業務プロセス5	
2. 1 業務フロー5	2. 1 業務フロー5	
2. 2 需給調整市場における入札および電源差替の制約6	2. 2 需給調整市場における入札および電源差替の制約6	
2. 3 メッセージ一覧6	2. 3 メッセージ一覧6	
3. 標準メッセージ7	3. 標準メッセージ7	
3. 1 構文規則7	3. 1 構文規則7	
3. 2 XML のデータ構造7	3. 2 XML のデータ構造7	
3. 3 構成要素と XML タグ名称付与規則8	3. 3 構成要素と XML タグ名称付与規則8	
3. 4 メッセージグループヘッダ9	3. 4 メッセージグループヘッダ9	
3. 6 マルチ明細タグ名10	3. 6 マルチ明細タグ名10	
3. 7 空の繰返し要素の省略12	3. 7 空の繰返し要素の省略11	
3. 8 メッセージを構成するデータ要素における空等の扱い12	3. 8 メッセージを構成するデータ要素における空等の扱い11	
3. 9 データ属性の表記法14	3. 9 データ属性の表記法13	
3. 10 各リスト・パターン関係メッセージのデータ要素15	3. 10 各リスト・パターン関係メッセージのデータ要素15	
3. 11 XML データの検証17	3. 11 XML データの検証17	
3. 11. 1 XML Schema の設計規則19	3. 11. 1 XML Schema の設計規則19	
3. 11. 2 XML Schema の名前空間19	3. 11. 2 XML Schema の名前空間19	
3. 11. 3 XML Schema の構造19	3. 11. 3 XML Schema の構造19	
3. 11. 4 XML Schema のファイル名19	3. 11. 4 XML Schema のファイル名19	
3. 11. 5 XML Schema によるデータ要素の定義例19	3. 11. 5 XML Schema によるデータ要素の定義例18	
4. ビジネス運用規則21	4. ビジネス運用規則19	
4. 1 メッセージ21	4. 1 メッセージ19	
4. 1. 1 メッセージファイルの構成単位21	4. 1. 1 メッセージファイルの構成単位19	
4. 1. 2 メッセージファイル名称付与規則210	4. 1. 2 メッセージファイル名称付与規則19	
4. 1. 3 メッセージの変更・取消の運用22	4. 1. 3 メッセージの変更・取消の運用19	

需給調整市場各リスト・パターン等受領業務ビジネスプロトコル標準規格（旧）	需給調整市場各リスト・パターン等受領業務ビジネスプロトコル標準規格（新）	備 考
1. 業務概要 1. 1 業務目的 需給調整市場におけるアグリゲーションコーディネータ等は、三次調整力②または週間市場に参入する場合は、ネガワットリストもしくは、調整力を供出する発電所のリスト(ポジワットリスト)、またはネガワットリストおよび、ポジワットリストが混在したネガポジリストをパターン毎に作成し、各リスト・パターンとして需給調整市場へ提出する。(以降簡単のため、三次調整力②各リスト・パターンと週間市場商品の各リスト・パターンを総称する場合は「各リスト・パターン」と記載する)。また、需給調整市場は、受領した各リスト・パターンを一般送配電事業者に送信し、一般送配電事業者はこれを受信する。 1. 2 対象業務 需給調整市場におけるアグリゲーションコーディネータ等、一般送配電事業者における各リスト・パターンの提出、受領、送信および受信に関する業務を対象とする。 1. 3 業務イメージ 各リスト・パターンを提出する際の基本的な業務イメージを図1-1に示す。 図1-1 業務イメージ	1. 業務概要 1. 1 業務目的 需給調整市場におけるアグリゲーションコーディネータ等は、三次調整力②または一次～三次①・複合市場(略称:複合市場)(以下、「複合市場」という。)に参入する場合は、ネガワットリストもしくは、調整力を供出する発電所のリスト(ポジワットリスト)、またはネガワットリストおよび、ポジワットリストが混在したネガポジリストをパターン毎に作成し、各リスト・パターンとして需給調整市場へ提出する。(以降簡単のため、三次調整力②各リスト・パターンと複合市場商品の各リスト・パターンを総称する場合は「各リスト・パターン」と記載する)。また、需給調整市場は、受領した各リスト・パターンを一般送配電事業者に送信し、一般送配電事業者はこれを受信する。 1. 2 対象業務 需給調整市場におけるアグリゲーションコーディネータ等、一般送配電事業者における各リスト・パターンの提出、受領、送信および受信に関する業務を対象とする。 1. 3 業務イメージ 各リスト・パターンを提出する際の基本的な業務イメージを図1-1に示す。 図1-1 業務イメージ	週間市場の削除と複合市場の追加

需給調整市場各リスト・パターン等受領業務ビジネスプロトコル標準規格（旧）		需給調整市場各リスト・パターン等受領業務ビジネスプロトコル標準規格（新）		備 考
2. 業務プロセス 2. 1 業務フロー 各リスト・パターンの基本的な業務フローを表2－1、図2－1に示す。		2. 業務プロセス 2. 1 業務フロー 各リスト・パターンの基本的な業務フローを表2－1、図2－1に示す。		
表2－1 各リスト・パターンの提出に関する説明一覧		表2－1 各リスト・パターンの提出に関する説明一覧		
業務名	説明	備考		
1－1 各リスト・パターン提出	アグリゲーションコーディネータ等は、需給調整市場取引規程等に基づき各リスト・パターンを作成し、需給調整市場へ提出する。		1－1 各リスト・パターン提出	アグリゲーションコーディネータ等は、需給調整市場取引規程等に基づき各リスト・パターンを作成し、需給調整市場へ提出する。
1－2 各リスト・パターン受領・送信	需給調整市場は、アグリゲーションコーディネータ等から提出される各リスト・パターンを需給調整市場システムに取込む。 また、アグリゲーションコーディネータ等から受領した各リスト・パターンを一般送配電事業者へ送信する。		1－2 各リスト・パターン受領・送信	需給調整市場は、アグリゲーションコーディネータ等から提出される各リスト・パターンを需給調整市場システムに取込む。 また、アグリゲーションコーディネータ等から受領した各リスト・パターンを一般送配電事業者へ送信する。
1－3 各リスト・パターン受信	一般送配電事業者は、需給調整市場から送信される各リスト・パターンを自社システムに取込み、調整力費用精算等の業務を行う。		1－3 各リスト・パターン受信	一般送配電事業者は、需給調整市場から送信される各リスト・パターンを自社システムに取込み、調整力費用精算等の業務を行う。
アグリゲーション コーディネータ等 需給調整市場 一般送配電事業者 1－1 各リスト・パターン 提出 1－2 各リスト・パターン 受領・送信 1－3 各リスト・パターン 受信		アグリゲーション コーディネータ等 需給調整市場 一般送配電事業者 1－1 各リスト・パターン 提出 1－2 各リスト・パターン 受領・送信 1－3 各リスト・パターン 受信		
図2－1 業務フロー		図2－1 業務フロー		

需給調整市場各リスト・パターン等受領業務ビジネスプロトコル標準規格（旧）			需給調整市場各リスト・パターン等受領業務ビジネスプロトコル標準規格（新）			備考
2. 2 需給調整市場における入札および電源差替の制約						
本規格で規定する各リスト・パターンにおける入札の制約を図2－2に示す。なお、電源差替においても差替先の各リスト・パターンは約定と同等の責務を負うため、入札と同様の扱いとする。						
	週間市場商品および三次調整力②に入札可能な各リスト・パターン		三次調整力②のみ入札可能な各リスト・パターン			週間市場 複合市場 変更。
対象パターンの選択	入札する各リスト・パターンの対象パターンをパターン①～パターン②⑩から選択する いずれか1つ選択 パターン① ～ パターン②⑩		入札する各リスト・パターンの対象パターンをパターン①～パターン②⑩から選択する いずれか1つ選択 パターン① ～ パターン②⑩			パターン 数の上限 変更に伴 う記載変 更。 ※第7回 次世代の 分散型電 力システム に関する 検討会に おいては 200件と整 理された が、長期 的な利用 を鑑みて 500件とし た。 落札され なかったケ ースの削 除。
商品区分の選択	いずれかの商品区分に入札 需給調整市場 （週間市場商品） ↓ 落札された場合 ↓ 約定		入札 需給調整市場 （三次調整力②） ↓ 落札された場合 ↓ 約定 （落札されなかった場合）			週間市場 複合市場 変更。
図2－2 需給調整市場における入札および電源差替の制約						
2. 3 メッセージ一覧						
本規格で規定する標準メッセージを表2－2に示す。						
表2－2 標準メッセージ一覧						
メッセージ名称	説明					週間市場 から複合 市場への変 更。
各リスト・パターンメッセージ	需給調整市場における週間市場商品および三次調整力②の各リスト・パターン	需給調整市場の週間市場および三次調整力②において調整力を需要抑制により供出する需要家および発電所のリスト(ネガ・ポジワットリスト)				

2. 2 需給調整市場における入札および電源差替の制約						
本規格で規定する各リスト・パターンにおける入札の制約を図2－2に示す。なお、電源差替においても差替先の各リスト・パターンは約定と同等の責務を負うため、入札と同様の扱いとする。						
	複合市場商品および三次調整力②に入札可能な各リスト・パターン		三次調整力②のみ入札可能な各リスト・パターン			週間市場 複合市場 変更。
対象パターンの選択	入札する各リスト・パターンの対象パターンをパターン001～パターン500から選択する いずれか1つ選択 パターン001 ～ パターン500		入札する各リスト・パターンの対象パターンをパターン001～パターン500から選択する いずれか1つ選択 パターン001 ～ パターン500			パターン 数の上限 変更に伴 う記載変 更。 ※第7回 次世代の 分散型電 力システム に関する 検討会に おいては 200件と整 理された が、長期 的な利用 を鑑みて 500件とし た。 落札され なかったケ ースの削 除。
商品区分の選択	いずれかの商品区分に入札 需給調整市場 （複合市場商品） ↓ 落札された場合 ↓ 約定		入札 需給調整市場 （三次調整力②） ↓ 落札された場合 ↓ 約定			週間市場 複合市場 変更。
図2－2 需給調整市場における入札および電源差替の制約						
2. 3 メッセージ一覧						
本規格で規定する標準メッセージを表2－2に示す。						
表2－2 標準メッセージ一覧						
メッセージ名称	説明					週間市場 から複合 市場への変 更。
各リスト・パターンメッセージ	需給調整市場における複合市場商品および三次調整力②の各リスト・パターン	需給調整市場の複合市場および三次調整力②において調整力を需要抑制により供出する需要家および発電所のリスト(ネガ・ポジワットリスト)				

需給調整市場各リスト・パターン等受領業務ビジネスプロトコル標準規格（旧）		需給調整市場各リスト・パターン等受領業務ビジネスプロトコル標準規格（新）		備 考																																																																								
3. 標準メッセージ																																																																												
3. 1 構文規則																																																																												
シンタックスルールは、「XML 1.0(W3C勧告)http://www.w3.org/TR/REC-xml/」を準用する。																																																																												
3. 2 XML のデータ構造																																																																												
(a) 論理レコードの種類																																																																												
XMLデータを構成する論理レコードを表3－1に示す。																																																																												
<table><tr><td colspan="2">表3－1 論理レコードの種類</td></tr><tr><td colspan="2">論理レコードの種類</td></tr><tr><td colspan="2">メッセージグループヘッダ</td></tr><tr><td colspan="2">業務メッセージ</td></tr></table>					表3－1 論理レコードの種類		論理レコードの種類		メッセージグループヘッダ		業務メッセージ																																																																	
表3－1 論理レコードの種類																																																																												
論理レコードの種類																																																																												
メッセージグループヘッダ																																																																												
業務メッセージ																																																																												
(b) 階層構造																																																																												
XML電文の階層構造を図3－1に示す。																																																																												
なお、本標準のメッセージファイルは、1つのメッセージグループで構成され、かつ、当該メッセージグループは、1つのメッセージで構成される。																																																																												
<table><tr><td colspan="6">交換単位(メッセージファイル)</td></tr><tr><td>XML宣言</td><td>XML電文 開始タグ</td><td>メッセージ グループ</td><td></td><td>メッセージ グループ</td><td>XML電文 終了タグ</td></tr><tr><td colspan="6"> </td></tr><tr><td>メッセージグループ 開始タグ</td><td>メッセージ グループヘッダ</td><td>メッセージ</td><td></td><td>メッセージ</td><td>メッセージグループ 終了タグ</td></tr><tr><td colspan="6"> </td></tr><tr><td>メッセージ 開始タグ</td><td>データ要素</td><td>マルチ明細</td><td></td><td>データ要素</td><td>メッセージ 終了タグ</td></tr><tr><td colspan="6"> </td></tr><tr><td>マルチ明細 開始タグ</td><td>繰返し 要素</td><td></td><td></td><td>繰返し 要素</td><td>マルチ明細 終了タグ</td></tr><tr><td colspan="6"> </td></tr><tr><td>繰返し要素 開始タグ</td><td>データ要素</td><td></td><td>マルチ 明細</td><td>データ要素</td><td>繰返し要素 終了タグ</td></tr><tr><td colspan="6"> </td></tr><tr><td>データ要素開始タグ</td><td>データ要素値</td><td colspan="4">データ要素終了タグ</td></tr></table>					交換単位(メッセージファイル)						XML宣言	XML電文 開始タグ	メッセージ グループ		メッセージ グループ	XML電文 終了タグ							メッセージグループ 開始タグ	メッセージ グループヘッダ	メッセージ		メッセージ	メッセージグループ 終了タグ							メッセージ 開始タグ	データ要素	マルチ明細		データ要素	メッセージ 終了タグ							マルチ明細 開始タグ	繰返し 要素			繰返し 要素	マルチ明細 終了タグ							繰返し要素 開始タグ	データ要素		マルチ 明細	データ要素	繰返し要素 終了タグ							データ要素開始タグ	データ要素値	データ要素終了タグ			
交換単位(メッセージファイル)																																																																												
XML宣言	XML電文 開始タグ	メッセージ グループ		メッセージ グループ	XML電文 終了タグ																																																																							
メッセージグループ 開始タグ	メッセージ グループヘッダ	メッセージ		メッセージ	メッセージグループ 終了タグ																																																																							
メッセージ 開始タグ	データ要素	マルチ明細		データ要素	メッセージ 終了タグ																																																																							
マルチ明細 開始タグ	繰返し 要素			繰返し 要素	マルチ明細 終了タグ																																																																							
繰返し要素 開始タグ	データ要素		マルチ 明細	データ要素	繰返し要素 終了タグ																																																																							
データ要素開始タグ	データ要素値	データ要素終了タグ																																																																										
図 3－1 XML電文の階層構造																																																																												

3. 標準メッセージ																																																																												
3. 1 構文規則																																																																												
シンタックスルールは、「XML 1.0(W3C勧告)http://www.w3.org/TR/REC-xml/」を準用する。																																																																												
3. 2 XML のデータ構造																																																																												
(a) 論理レコードの種類																																																																												
XMLデータを構成する論理レコードを表3－1に示す。																																																																												
<table><tr><td colspan="2">表3－1 論理レコードの種類</td></tr><tr><td colspan="2">論理レコードの種類</td></tr><tr><td colspan="2">メッセージグループヘッダ</td></tr><tr><td colspan="2">業務メッセージ</td></tr></table>					表3－1 論理レコードの種類		論理レコードの種類		メッセージグループヘッダ		業務メッセージ																																																																	
表3－1 論理レコードの種類																																																																												
論理レコードの種類																																																																												
メッセージグループヘッダ																																																																												
業務メッセージ																																																																												
(b) 階層構造																																																																												
XML電文の階層構造を図3－1に示す。																																																																												
なお、本標準のメッセージファイルは、1つのメッセージグループで構成され、かつ、当該メッセージグループは、1つのメッセージで構成される。																																																																												
<table><tr><td colspan="6">交換単位(メッセージファイル)</td></tr><tr><td>XML宣言</td><td>XML電文 開始タグ</td><td>メッセージ グループ</td><td></td><td>メッセージ グループ</td><td>XML電文 終了タグ</td></tr><tr><td colspan="6"> </td></tr><tr><td>メッセージグループ 開始タグ</td><td>メッセージ グループヘッダ</td><td>メッセージ</td><td></td><td>メッセージ</td><td>メッセージグループ 終了タグ</td></tr><tr><td colspan="6"> </td></tr><tr><td>メッセージ 開始タグ</td><td>データ要素</td><td>マルチ明細</td><td></td><td>データ要素</td><td>メッセージ 終了タグ</td></tr><tr><td colspan="6"> </td></tr><tr><td>マルチ明細 開始タグ</td><td>繰返し 要素</td><td></td><td></td><td>繰返し 要素</td><td>マルチ明細 終了タグ</td></tr><tr><td colspan="6"> </td></tr><tr><td>繰返し要素 開始タグ</td><td>データ要素</td><td></td><td>マルチ 明細</td><td>データ要素</td><td>繰返し要素 終了タグ</td></tr><tr><td colspan="6"> </td></tr><tr><td>データ要素開始タグ</td><td>データ要素値</td><td colspan="4">データ要素終了タグ</td></tr></table>					交換単位(メッセージファイル)						XML宣言	XML電文 開始タグ	メッセージ グループ		メッセージ グループ	XML電文 終了タグ							メッセージグループ 開始タグ	メッセージ グループヘッダ	メッセージ		メッセージ	メッセージグループ 終了タグ							メッセージ 開始タグ	データ要素	マルチ明細		データ要素	メッセージ 終了タグ							マルチ明細 開始タグ	繰返し 要素			繰返し 要素	マルチ明細 終了タグ							繰返し要素 開始タグ	データ要素		マルチ 明細	データ要素	繰返し要素 終了タグ							データ要素開始タグ	データ要素値	データ要素終了タグ			
交換単位(メッセージファイル)																																																																												
XML宣言	XML電文 開始タグ	メッセージ グループ		メッセージ グループ	XML電文 終了タグ																																																																							
メッセージグループ 開始タグ	メッセージ グループヘッダ	メッセージ		メッセージ	メッセージグループ 終了タグ																																																																							
メッセージ 開始タグ	データ要素	マルチ明細		データ要素	メッセージ 終了タグ																																																																							
マルチ明細 開始タグ	繰返し 要素			繰返し 要素	マルチ明細 終了タグ																																																																							
繰返し要素 開始タグ	データ要素		マルチ 明細	データ要素	繰返し要素 終了タグ																																																																							
データ要素開始タグ	データ要素値	データ要素終了タグ																																																																										
図 3－1 XML電文の階層構造																																																																												

需給調整市場各リスト・パターン等受領業務ビジネスプロトコル標準規格（旧）				需給調整市場各リスト・パターン等受領業務ビジネスプロトコル標準規格（新）				備 考		
3. 3 構成要素とXMLタグ名称付与規則				3. 3 構成要素とXMLタグ名称付与規則				週間市場商品各リスト・パターンと三次調整力②各リスト・パターンの統合により、情報区分コードの許容値の変更。		
「図3－1 XML電文の階層構造」の構成要素とタグ名を表3－2に、構成要素の属性を表3－3に、本標準におけるXML構造の表現例を図3-2に示す。				「図3－1 XML電文の階層構造」の構成要素とタグ名を表3－2に、構成要素の属性を表3－3に、本標準におけるXML構造の表現例を図3-2に示す。						
表3－2 構成要素とタグ名一覧				表3－2 構成要素とタグ名一覧						
構成要素		タグ名	備 考	構成要素		タグ名	備 考			
交換単位		MMS-MSG	先頭要素名 需給調整市場:MMS-MSG	交換単位		MMS-MSG	先頭要素名 需給調整市場:MMS-MSG			
メッセージグループ		JPMGRP		メッセージグループ		JPMGRP				
メッセージグループヘッダ		JPMGH		メッセージグループヘッダ		JPMGH				
業務メッセージ		JPTRM		業務メッセージ		JPTRM				
マルチ明細		JPMxxxxx	データ要素タグ名は、マルチ明細の明細番号(数字5桁)の頭に“JPM”を付加して表現する。	マルチ明細		JPMxxxxx	データ要素タグ名は、マルチ明細の明細番号(数字5桁)の頭に“JPM”を付加して表現する。			
繰返し要素		JPMRxxxxx	データ要素タグ名は、マルチ明細の明細番号(数字5桁)の頭に“JPMR”を付加して表現する。	繰返し要素		JPMRxxxxx	データ要素タグ名は、マルチ明細の明細番号(数字5桁)の頭に“JPMR”を付加して表現する。			
データ要素		JPxxxxx	データ要素タグ名は、英数字(JIS-X0201)の5桁で表現されたタグ番号の頭に“JP”を付加して表現する。	データ要素		JPxxxxx	データ要素タグ名は、英数字(JIS-X0201)の5桁で表現されたタグ番号の頭に“JP”を付加して表現する。			
表3－3 構成要素の属性一覧				表3－3 構成要素の属性一覧						
タグ名	属性名	桁数	説明	許容値	タグ名	属性名	桁数		説明	許容値
MMS-MSG	BPID	X(4)	BPID機関コード	“OCTO”固定	MMS-MSG	BPID	X(4)		BPID機関コード	“OCTO”固定
	BPIDSUB	X(2)	BPID副機関コード	“W9”固定		BPIDSUB	X(2)		BPID副機関コード	“W9”固定
	BPIDVER	X(2)	各ビジネスプロトコル標準規格の版	“3A”固定		BPIDVER	X(2)		各ビジネスプロトコル標準規格の版	“3A”固定
	MSGID	X(4)	情報区分コード	“0231”または“0232”※		MSGID	X(4)		情報区分コード	“0232”固定※
	MAPVER	X(6)	シンタックスルールの版	“1.0-1A”固定		MAPVER	X(6)		シンタックスルールの版	“1.0-1A”固定
JPMGRP	SEQ	9(5)	メッセージグループのシーケンス番号	“1”からの昇順	JPMGRP	SEQ	9(5)		メッセージグループのシーケンス番号	“1”からの昇順
JPTRM	SEQ	9(5)	メッセージのシーケンス番号	“1”からの昇順	JPTRM	SEQ	9(5)		メッセージのシーケンス番号	“1”からの昇順
※情報区分コードは、需給調整市場週間市場商品各リスト・パターンを”0231”、需給調整市場三次調整力②各リスト・パターンを”0232”とする。				※情報区分コードは、週間市場商品各リスト・パターンと三次調整力②各リスト・パターンの統合により、需給調整市場各リスト・パターンを”0232”とする。						

需給調整市場各リスト・パターン等受領業務ビジネスプロトコル標準規格（旧）					需給調整市場各リスト・パターン等受領業務ビジネスプロトコル標準規格（新）					備 考	
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?> <!--各リスト・パターン業務ビジネスプロトコル標準規格 --> <MMS-MSG BPID="OCTO" BPIDSUB="W9" BPIDVER="3A" MSGID="0232" MAPVER="1.0-1A"> <JPMGRP SEQ="1"> <JPMGH> ... </JPMGH> <JPTRM SEQ="1"> <JPxxxx>1234</JPxxxx> ... </JPTRM> </JPMGRP> </MMS-MSG> XML宣言 メッセージグループヘッダ データ要素 メッセージ 交換単位 (メッセージファイル)					<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?> <!--各リスト・パターン業務ビジネスプロトコル標準規格 --> <MMS-MSG BPID="OCTO" BPIDSUB="W9" BPIDVER="3A" MSGID="0232" MAPVER="1.0-1A"> <JPMGRP SEQ="1"> <JPMGH> ... </JPMGH> <JPTRM SEQ="1"> <JPxxxx>1234</JPxxxx> ... </JPTRM> </JPMGRP> </MMS-MSG> XML宣言 メッセージグループヘッダ データ要素 メッセージ 交換単位 (メッセージファイル)						
図3－2 本規格におけるXML構造の表現例					図3－2 本規格におけるXML構造の表現例						
3. 4 メッセージグループヘッダ					3. 4 メッセージグループヘッダ						
メッセージグループヘッダの必須項目を表3－4に示す。					メッセージグループヘッダの必須項目を表3－4に示す。						
表3－4 メッセージグループヘッダのデータ要素(必須項目)					表3－4 メッセージグループヘッダのデータ要素(必須項目)						
タグ名	データ要素名	属性	コード値	意味	タグ名	データ要素名	属性	コード値	意味		
JPC03	運用モード	X(1)	1	テストデータ	JPC03	運用モード	X(1)	1	テストデータ		
			0 or △	通常データ				0 or △	通常データ		
JPC06	発信者コード	X(12)	先頭5桁を本機関が設定する「事業者コード(5桁)」とし、残り7桁を“0”とした12桁のコードを使用する		JPC06	発信者コード	X(12)	先頭5桁を本機関が設定する「事業者コード(5桁)」とし、残り7桁を“0”とした12桁のコードを使用する			
JPC09	受信者コード	X(12)			JPC09	受信者コード	X(12)				
JPC10	BPID機関コード	X(4)	OCTO	ビジネスプロトコルを制定した機関名	JPC10	BPID機関コード	X(4)	OCTO	ビジネスプロトコルを制定した機関名		
JPC11	BPID副機関コード	X(2)	W9	需給調整市場基準値計画および各リスト・パターン等受領業務	JPC11	BPID副機関コード	X(2)	W9	需給調整市場基準値計画および各リスト・パターン等受領業務		
JPC12	BPID版	X(2)	3A	基準値計画等受領業務の版 各リスト・パターン等受領業務の版	JPC12	BPID版	X(2)	3A	基準値計画等受領業務の版 各リスト・パターン等受領業務の版		
JPC14	情報区分コード	X(4)	0231 or 0232	商品区分に応じて情報区分コードを設定 ・0231:需給調整市場週間市場商品各リスト・パターン ・0232:需給調整市場三次調整力②各リスト・パターン	JPC14	情報区分コード	X(4)	0232	・0232:需給調整市場各リスト・パターン		
JPC19	作成日付時刻	X(12)	YYMMDDHHMMSS	メッセージグループの作成日付時刻(YYMMDDHHMMSS)を示す。(年は西暦の下2桁)	JPC19	作成日付時刻	X(12)	YYMMDDHHMMSS	メッセージグループの作成日付時刻(YYMMDDHHMMSS)を示す。(年は西暦の下2桁)		
JPC21	構文規則識別版数	X(6)	1.0-1A	シンタックスルールの版	JPC21	構文規則識別版数	X(6)	1.0-1A	シンタックスルールの版		

需給調整市場各リスト・パターン等受領業務ビジネスプロトコル標準規格（旧）		需給調整市場各リスト・パターン等受領業務ビジネスプロトコル標準規格（新）		備考																								
3. 5 マルチ明細の構造																												
マルチ明細の構造を図3－3に示す。全体構成については、「図3-2 XML電文の階層構造」を参照。																												
マルチ明細 繰返し要素 繰返し要素 マルチ明細 繰返し要素 開始タグ データ要素 又はマルチ明細 データ要素 又はマルチ明細 繰返し要素 終了タグ データ要素の場合 データ要素 開始タグ データ要素値 データ要素 終了タグ																												
図3－3 マルチ明細構造																												
3. 6 マルチ明細タグ名																												
マルチ明細のタグ名を表3－5に、マルチ明細構造の表現例を図3－4に示す。																												
<table><tr><th colspan="4">表3－5 マルチ明細タグ名</th></tr><tr><th>名称</th><th>タグ名</th><th>属性</th><th>備考</th></tr><tr><td>マルチ明細開始</td><td>JPMxxxxx</td><td></td><td rowspan="5">タグ名中のxxxxxは明細番号を利用し、“00010”から“65535”の範囲とする。</td></tr><tr><td>マルチ明細終了</td><td>JPMxxxxx</td><td></td></tr><tr><td>繰返し要素開始</td><td>JPMRxxxxx</td><td></td></tr><tr><td>繰返し要素終了</td><td>JPMRxxxxx</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> <JPM00010> 明細番号=10 <JPMR 00010> <JPxxxx>11111</JPxxxx> ⋮ <JPxxxx>22222</JPxxxx> <JPM00011> 明細番号=11 <JPMR00011> ⋮ </JPMR00011> ⋮ </JPM00011> ⋮ </JPMR00010> ⋮ </JPM00010> データ要素 図3－4 マルチ明細構造の表現例					表3－5 マルチ明細タグ名				名称	タグ名	属性	備考	マルチ明細開始	JPMxxxxx		タグ名中のxxxxxは明細番号を利用し、“00010”から“65535”の範囲とする。	マルチ明細終了	JPMxxxxx		繰返し要素開始	JPMRxxxxx		繰返し要素終了	JPMRxxxxx				
表3－5 マルチ明細タグ名																												
名称	タグ名	属性	備考																									
マルチ明細開始	JPMxxxxx		タグ名中のxxxxxは明細番号を利用し、“00010”から“65535”の範囲とする。																									
マルチ明細終了	JPMxxxxx																											
繰返し要素開始	JPMRxxxxx																											
繰返し要素終了	JPMRxxxxx																											
3. 5 マルチ明細の構造																												
マルチ明細の構造を図3－3に示す。全体構成については、「図3-2 XML電文の階層構造」を参照。																												
マルチ明細 繰返し要素 繰返し要素 マルチ明細 繰返し要素 開始タグ データ要素 又はマルチ明細 データ要素 又はマルチ明細 繰返し要素 終了タグ データ要素の場合 データ要素 開始タグ データ要素値 データ要素 終了タグ																												
図3－3 マルチ明細構造																												
3. 6 マルチ明細タグ名																												
マルチ明細のタグ名を表3－5に、マルチ明細構造の表現例を図3－4に示す。																												
<table><tr><th colspan="4">表3－5 マルチ明細タグ名</th></tr><tr><th>名称</th><th>タグ名</th><th>属性</th><th>備考</th></tr><tr><td>マルチ明細開始</td><td>JPMxxxxx</td><td></td><td rowspan="5">タグ名中のxxxxxは明細番号を利用し、“00010”から“65535”の範囲とする。</td></tr><tr><td>マルチ明細終了</td><td>JPMxxxxx</td><td></td></tr><tr><td>繰返し要素開始</td><td>JPMRxxxxx</td><td></td></tr><tr><td>繰返し要素終了</td><td>JPMRxxxxx</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> <JPM00010> 明細番号=10 <JPMR 00010> <JPxxxx>11111</JPxxxx> ⋮ <JPxxxx>22222</JPxxxx> <JPM00011> 明細番号=11 <JPMR00011> ⋮ </JPMR00011> ⋮ </JPM00011> ⋮ </JPMR00010> ⋮ </JPM00010> データ要素 図3－4 マルチ明細構造					表3－5 マルチ明細タグ名				名称	タグ名	属性	備考	マルチ明細開始	JPMxxxxx		タグ名中のxxxxxは明細番号を利用し、“00010”から“65535”の範囲とする。	マルチ明細終了	JPMxxxxx		繰返し要素開始	JPMRxxxxx		繰返し要素終了	JPMRxxxxx				
表3－5 マルチ明細タグ名																												
名称	タグ名	属性	備考																									
マルチ明細開始	JPMxxxxx		タグ名中のxxxxxは明細番号を利用し、“00010”から“65535”の範囲とする。																									
マルチ明細終了	JPMxxxxx																											
繰返し要素開始	JPMRxxxxx																											
繰返し要素終了	JPMRxxxxx																											

需給調整市場各リスト・パターン等受領業務ビジネスプロトコル標準規格（旧）	需給調整市場各リスト・パターン等受領業務ビジネスプロトコル標準規格（新）	備 考																
3. 7 空の繰返し要素の省略 空の繰返し要素は省略することを基本とするが、省略した繰返し要素が何番目の繰返し要素であることを明示する必要がある場合は、空の繰返し要素の位置に空の繰返し要素を残す。ただし、この時もその繰返し要素の後ろの繰返し要素もすべて空の場合は、空の繰返し要素を省略する。(図3－5) 図3－5 マルチ明細構造 空繰返しの表現例 3. 8 メッセージを構成するデータ要素における空等の扱い メッセージを構成するデータ要素は可変長であり、空(入力データがない場合)、文字データにおけるスペース、および数値データにおけるゼロの扱いについて、以下のとおり規定する。 (a) 空のデータ要素の扱い 空のデータ要素の扱いを表3－6に示す。 表3－6 空のデータ要素の扱い <table><tr><th rowspan="2">内容</th><th colspan="2">例</th></tr><tr><th>送信側入力値</th><th>データ要素</th></tr><tr><td>空の場合は、データ要素を省略する。</td><td>(空)</td><td>(省略)</td></tr></table>	内容	例		送信側入力値	データ要素	空の場合は、データ要素を省略する。	(空)	(省略)	3. 7 空の繰返し要素の省略 空の繰返し要素は省略することを基本とするが、省略した繰返し要素が何番目の繰返し要素であることを明示する必要がある場合は、空の繰返し要素の位置に空の繰返し要素を残す。ただし、この時もその繰返し要素の後ろの繰返し要素もすべて空の場合は、空の繰返し要素を省略する。(図3－5) 図3－5 マルチ明細構造 空繰返しの表現例 3. 8 メッセージを構成するデータ要素における空等の扱い メッセージを構成するデータ要素は可変長であり、空(入力データがない場合)、文字データにおけるスペース、および数値データにおけるゼロの扱いについて、以下のとおり規定する。 (a) 空のデータ要素の扱い 空のデータ要素の扱いを表3－6に示す。 表3－6 空のデータ要素の扱い <table><tr><th rowspan="2">内容</th><th colspan="2">例</th></tr><tr><th>送信側入力値</th><th>データ要素</th></tr><tr><td>空の場合は、データ要素を省略する。</td><td>(空)</td><td>(省略)</td></tr></table>	内容	例		送信側入力値	データ要素	空の場合は、データ要素を省略する。	(空)	(省略)	
内容		例																
	送信側入力値	データ要素																
空の場合は、データ要素を省略する。	(空)	(省略)																
内容	例																	
	送信側入力値	データ要素																
空の場合は、データ要素を省略する。	(空)	(省略)																

需給調整市場各リスト・パターン等受領業務ビジネスプロトコル標準規格（旧）	需給調整市場各リスト・パターン等受領業務ビジネスプロトコル標準規格（新）	備 考																																																																												
(b) X属性のデータ要素における半角スペースの扱い X属性のデータ要素における半角スペースの扱いを表3－7に示す。 表3－7 X属性のデータ要素における半角スペース <table><tr><th rowspan="2">内容</th><th colspan="2">例(注)</th></tr><tr><th>送信側入力値</th><th>データ要素</th></tr><tr><td>(1)最も右側にある半角スペース以外の文字よりも更に右側の半角スペースおよび最も左側にある半角スペース以外の文字よりも更に左側の半角スペースを省略する。</td><td>△A△</td><td><JPxxxx>A</JPxxxx></td></tr><tr><td>(2)すべての桁が半角スペースの場合は、データ要素を省略する。</td><td>△△△</td><td>(省略)</td></tr></table> (注)△は半角スペースを示す。 (c) 9属性におけるゼロの扱い 9属性におけるゼロの扱いを表3－8に示す。 表3－8 9属性のデータ要素におけるゼロの扱い <table><tr><th rowspan="2">内容</th><th colspan="2">例</th></tr><tr><th>送信側入力値</th><th>データ要素</th></tr><tr><td>(1)最も左側にあるゼロ以外の数値よりも更に左側のゼロを省略する。</td><td>012</td><td><JPxxxx>12</JPxxxx></td></tr><tr><td>(2)すべての桁がゼロの場合は、“0”とする。</td><td>000</td><td><JPxxxx>0</JPxxxx></td></tr></table> (d) N属性におけるゼロ等の扱い N属性のデータ要素におけるゼロ等の扱いを表3－9に示す。 表3－9 N属性のデータ要素におけるゼロ等の扱い <table><tr><th rowspan="2">内容</th><th colspan="2">例</th></tr><tr><th>送信側入力値</th><th>データ要素</th></tr><tr><td>(1)もっとも左側にあるゼロ以外の数値よりもさらに左側のゼロを省略する。</td><td>−012</td><td><JPxxxx>−12</JPxxxx></td></tr><tr><td rowspan="3">(2)すべての桁が正負符号又はゼロの場合は、“0”とする。</td><td>000</td><td rowspan="3"><JPxxxx>0</JPxxxx></td></tr><tr><td>+0</td></tr><tr><td>−0</td></tr><tr><td>(3)正符号は省略する。 ただし、正符号を表示する場合は、データ要素定義の上で注意すること。</td><td>+123</td><td><JPxxxx>123</JPxxxx></td></tr></table>	内容	例(注)		送信側入力値	データ要素	(1)最も右側にある半角スペース以外の文字よりも更に右側の半角スペースおよび最も左側にある半角スペース以外の文字よりも更に左側の半角スペースを省略する。	△A△	<JPxxxx>A</JPxxxx>	(2)すべての桁が半角スペースの場合は、データ要素を省略する。	△△△	(省略)	内容	例		送信側入力値	データ要素	(1)最も左側にあるゼロ以外の数値よりも更に左側のゼロを省略する。	012	<JPxxxx>12</JPxxxx>	(2)すべての桁がゼロの場合は、“0”とする。	000	<JPxxxx>0</JPxxxx>	内容	例		送信側入力値	データ要素	(1)もっとも左側にあるゼロ以外の数値よりもさらに左側のゼロを省略する。	−012	<JPxxxx>−12</JPxxxx>	(2)すべての桁が正負符号又はゼロの場合は、“0”とする。	000	<JPxxxx>0</JPxxxx>	+0	−0	(3)正符号は省略する。 ただし、正符号を表示する場合は、データ要素定義の上で注意すること。	+123	<JPxxxx>123</JPxxxx>	(b) X属性のデータ要素における半角スペースの扱い X属性のデータ要素における半角スペースの扱いを表3－7に示す。 表3－7 X属性のデータ要素における半角スペース <table><tr><th rowspan="2">内容</th><th colspan="2">例(注)</th></tr><tr><th>送信側入力値</th><th>データ要素</th></tr><tr><td>(1)最も右側にある半角スペース以外の文字よりも更に右側の半角スペースおよび最も左側にある半角スペース以外の文字よりも更に左側の半角スペースを省略する。</td><td>△A△</td><td><JPxxxx>A</JPxxxx></td></tr><tr><td>(2)すべての桁が半角スペースの場合は、データ要素を省略する。</td><td>△△△</td><td>(省略)</td></tr></table> (注)△は半角スペースを示す。 (c) 9属性におけるゼロの扱い 9属性におけるゼロの扱いを表3－8に示す。 表3－8 9属性のデータ要素におけるゼロの扱い <table><tr><th rowspan="2">内容</th><th colspan="2">例</th></tr><tr><th>送信側入力値</th><th>データ要素</th></tr><tr><td>(1)最も左側にあるゼロ以外の数値よりも更に左側のゼロを省略する。</td><td>012</td><td><JPxxxx>12</JPxxxx></td></tr><tr><td>(2)すべての桁がゼロの場合は、“0”とする。</td><td>000</td><td><JPxxxx>0</JPxxxx></td></tr></table> (d) N属性におけるゼロ等の扱い N属性のデータ要素におけるゼロ等の扱いを表3－9に示す。 表3－9 N属性のデータ要素におけるゼロ等の扱い <table><tr><th rowspan="2">内容</th><th colspan="2">例</th></tr><tr><th>送信側入力値</th><th>データ要素</th></tr><tr><td>(1)もっとも左側にあるゼロ以外の数値よりもさらに左側のゼロを省略する。</td><td>−012</td><td><JPxxxx>−12</JPxxxx></td></tr><tr><td rowspan="3">(2)すべての桁が正負符号又はゼロの場合は、“0”とする。</td><td>000</td><td rowspan="3"><JPxxxx>0</JPxxxx></td></tr><tr><td>+0</td></tr><tr><td>−0</td></tr><tr><td>(3)正符号は省略する。 ただし、正符号を表示する場合は、データ要素定義の上で注意すること。</td><td>+123</td><td><JPxxxx>123</JPxxxx></td></tr></table>	内容	例(注)		送信側入力値	データ要素	(1)最も右側にある半角スペース以外の文字よりも更に右側の半角スペースおよび最も左側にある半角スペース以外の文字よりも更に左側の半角スペースを省略する。	△A△	<JPxxxx>A</JPxxxx>	(2)すべての桁が半角スペースの場合は、データ要素を省略する。	△△△	(省略)	内容	例		送信側入力値	データ要素	(1)最も左側にあるゼロ以外の数値よりも更に左側のゼロを省略する。	012	<JPxxxx>12</JPxxxx>	(2)すべての桁がゼロの場合は、“0”とする。	000	<JPxxxx>0</JPxxxx>	内容	例		送信側入力値	データ要素	(1)もっとも左側にあるゼロ以外の数値よりもさらに左側のゼロを省略する。	−012	<JPxxxx>−12</JPxxxx>	(2)すべての桁が正負符号又はゼロの場合は、“0”とする。	000	<JPxxxx>0</JPxxxx>	+0	−0	(3)正符号は省略する。 ただし、正符号を表示する場合は、データ要素定義の上で注意すること。	+123	<JPxxxx>123</JPxxxx>	
内容		例(注)																																																																												
	送信側入力値	データ要素																																																																												
(1)最も右側にある半角スペース以外の文字よりも更に右側の半角スペースおよび最も左側にある半角スペース以外の文字よりも更に左側の半角スペースを省略する。	△A△	<JPxxxx>A</JPxxxx>																																																																												
(2)すべての桁が半角スペースの場合は、データ要素を省略する。	△△△	(省略)																																																																												
内容	例																																																																													
	送信側入力値	データ要素																																																																												
(1)最も左側にあるゼロ以外の数値よりも更に左側のゼロを省略する。	012	<JPxxxx>12</JPxxxx>																																																																												
(2)すべての桁がゼロの場合は、“0”とする。	000	<JPxxxx>0</JPxxxx>																																																																												
内容	例																																																																													
	送信側入力値	データ要素																																																																												
(1)もっとも左側にあるゼロ以外の数値よりもさらに左側のゼロを省略する。	−012	<JPxxxx>−12</JPxxxx>																																																																												
(2)すべての桁が正負符号又はゼロの場合は、“0”とする。	000	<JPxxxx>0</JPxxxx>																																																																												
	+0																																																																													
	−0																																																																													
(3)正符号は省略する。 ただし、正符号を表示する場合は、データ要素定義の上で注意すること。	+123	<JPxxxx>123</JPxxxx>																																																																												
内容	例(注)																																																																													
	送信側入力値	データ要素																																																																												
(1)最も右側にある半角スペース以外の文字よりも更に右側の半角スペースおよび最も左側にある半角スペース以外の文字よりも更に左側の半角スペースを省略する。	△A△	<JPxxxx>A</JPxxxx>																																																																												
(2)すべての桁が半角スペースの場合は、データ要素を省略する。	△△△	(省略)																																																																												
内容	例																																																																													
	送信側入力値	データ要素																																																																												
(1)最も左側にあるゼロ以外の数値よりも更に左側のゼロを省略する。	012	<JPxxxx>12</JPxxxx>																																																																												
(2)すべての桁がゼロの場合は、“0”とする。	000	<JPxxxx>0</JPxxxx>																																																																												
内容	例																																																																													
	送信側入力値	データ要素																																																																												
(1)もっとも左側にあるゼロ以外の数値よりもさらに左側のゼロを省略する。	−012	<JPxxxx>−12</JPxxxx>																																																																												
(2)すべての桁が正負符号又はゼロの場合は、“0”とする。	000	<JPxxxx>0</JPxxxx>																																																																												
	+0																																																																													
	−0																																																																													
(3)正符号は省略する。 ただし、正符号を表示する場合は、データ要素定義の上で注意すること。	+123	<JPxxxx>123</JPxxxx>																																																																												

需給調整市場各リスト・パターン等受領業務ビジネスプロトコル標準規格（旧）				需給調整市場各リスト・パターン等受領業務ビジネスプロトコル標準規格（新）				備 考
3. 9 データ属性の表記法 データ属性の表記方法を表3－10に示す。				3. 9 データ属性の表記法 データ属性の表記方法を表3－10に示す。				
表3－10 データ属性の表記方法				表3－10 データ属性の表記方法				
属性	属性表記	説 明		属性	属性表記	説 明		
半角文字列	X(n) n:最大文字数	英数字、カナなどの1バイト文字で構成される文字列データ要素。 なお、“改行”、“タブ”を含んではならない。また、データ内のXML予約語(“く”、“>”、“&”、“apos”、“quot”)は、XMLの表記に従う。 (例)A+B<Cは、A+B<Cと表記 カッコ内の文字数に、漢字などの全角文字1文字は、2文字として桁数を表記する。	(注1) (注2)	半角文字列	X(n) n:最大文字数	英数字、カナなどの1バイト文字で構成される文字列データ要素。 なお、“改行”、“タブ”を含んではならない。また、データ内のXML予約語(“く”、“>”、“&”、“apos”、“quot”)は、XMLの表記に従う。 (例)A+B<Cは、A+B<Cと表記 カッコ内の文字数に、漢字などの全角文字1文字は、2文字として桁数を表記する。	(注1) (注2)	
全角文字列	K(n) n:最大文字数	漢字などの2バイト文字で構成される文字列データ要素。 カッコ内の文字数に、漢字などの全角文字1文字は、2文字として桁数を表記する。	(注2)	全角文字列	K(n) n:最大文字数	漢字などの2バイト文字で構成される文字列データ要素。 カッコ内の文字数に、漢字などの全角文字1文字は、2文字として桁数を表記する。	(注2)	
符号無 数値データ	9(n) n:整数部桁数	「0」～「9」までの数字だけで構成される数値データ要素。	(注3)	符号無 数値データ	9(n) n:整数部桁数	「0」～「9」までの数字だけで構成される数値データ要素。	(注3)	
符号付 数値データ	N(n) N(n)V(m) n:整数部桁数 m:小数部桁数	「0」～「9」までの数字、正負符号(「+」および「-」) および小数点(「.」)で構成される数値データ要素。 (例) N(10)V(3)→整数部最大桁数10、小数部最大桁数3 ※正負符号および小数点は桁数に含めない。		符号付 数値データ	N(n) N(n)V(m) n:整数部桁数 m:小数部桁数	「0」～「9」までの数字、正負符号(「+」および「-」) および小数点(「.」)で構成される数値データ要素。 (例) N(10)V(3)→整数部最大桁数10、小数部最大桁数3 ※正負符号および小数点は桁数に含めない。		
年月日	Y(8)	「0」～「9」までの数字で構成される年月日データ要素。 年は、西暦日付で表記する。(YYYYMMDD)		年月日	Y(8)	「0」～「9」までの数字で構成される年月日データ要素。 年は、西暦日付で表記する。(YYYYMMDD)		
(注1)全角文字と半角文字が混在する場合は、X属性を用いる。				(注1)全角文字と半角文字が混在する場合は、X属性を用いる。				
(注2)文字コードにUTF-8を採用しているため、カッコ内の桁数より実際のバイト数が増加する場合がある。				(注2)文字コードにUTF-8を採用しているため、カッコ内の桁数より実際のバイト数が増加する場合がある。				
(注3)小数を扱う場合は、N属性を用いる。				(注3)小数を扱う場合は、N属性を用いる。				

需給調整市場各リスト・パターン等受領業務ビジネスプロトコル標準規格（旧）								需給調整市場各リスト・パターン等受領業務ビジネスプロトコル標準規格（新）								備 考
3. 10 各リスト・パターン関係メッセージのデータ要素								3. 10 各リスト・パターン関係メッセージのデータ要素								週間市場 の文言を 削除。
各リスト・パターン関係メッセージのデータ要素を表3－1 1－1、3－1 1－2に示す。								各リスト・パターン関係メッセージのデータ要素を表3－1 1に示す。								
表3－1 1－1 週間市場商品各リスト・パターン関係メッセージのデータ要素								表3－1 1 各リスト・パターン関係メッセージのデータ要素								
タグ名	データ要素名	説明	共通 コード (注1)	使用 区分 (注2)	属性	繰り返し		タグ名	データ要素名	説明	共通 コード (注1)	使用 区分 (注2)	属性	繰り返し		既存のタグ名： JP06400～ タグ名： JP06186を 削除し、 新しくタグ 名： JP06725～ タグ名： JP06712 の項目を 追加する
						番号	最大回数							番号	最大回数	
JP00002	情報区分コード	メッセージの種類および需給調整市場の商品区分を示すコード ・0231:各リスト・パターン（週間市場商品）	○	●	X(4)			JP00002	情報区分コード	メッセージの種類および需給調整市場の商品区分を示すコード ・0232:各リスト・パターン	○	●	X(4)			
JP06170	情報区分名称	メッセージの種類および需給調整市場の商品区分の名称		▲	X(50)			JP06170	情報区分名称	メッセージの種類および需給調整市場の商品区分の名称		▲	X(50)			
JP06110	送信者コード	当該ファイルを送信する事業者を示すコード	○	●	X(5)			JP06110	送信者コード	当該ファイルを送信する事業者を示すコード	○	●	X(5)			
JP06111	送信者名称	当該ファイルを送信する事業者の名称		▲	X(50)			JP06111	送信者名称	当該ファイルを送信する事業者の名称		▲	X(50)			
JP06358	提出先事業者コード	当該ファイルを需給調整市場から転送する一般送配電事業者を示すコード	○	●	X(5)			JP06358	提出先事業者コード	当該ファイルを需給調整市場から転送する一般送配電事業者を示すコード	○	●	X(5)			
JP06359	提出先事業者	名称当該ファイルを需給調整市場から転送する一般送配電事業者の名称		▲	X(50)			JP06359	提出先事業者	名称当該ファイルを需給調整市場から転送する一般送配電事業者の名称		▲	X(50)			
JP06700	アグリゲーションコーディネータ用系統コード	アグリゲーションコーディネータ用系統コード		○	X(5)			JP06700	アグリゲーションコーディネータ用系統コード	アグリゲーションコーディネータ用系統コード		○	X(5)			
JP06701	アグリゲーションコーディネータ名称	アグリゲーションコーディネータ名称		▲	X(50)			JP06701	アグリゲーションコーディネータ名称	アグリゲーションコーディネータ名称		▲	X(50)			
JP06171	対象期間開始希望年月日	各リストの適用開始を希望する年月日 YYYYMMDD		●	Y(8)			JP06171	対象期間開始希望年月日	各リストの適用開始を希望する年月日 YYYYMMDD		●	Y(8)			
JP06703	各リスト・パターン番号	各リスト・パターンのパターン番号を示すコード(01～20)		●	x (2)			JP06703	各リスト・パターン番号	各リスト・パターンのパターン番号を示すコード(001～500)		●	x (3)			
JP06706	各リスト・パターン供出可能量	各リスト・パターンにおける当該パターンの供出可能量(kW)		●	N(9)			JP06706	各リスト・パターン供出可能量	各リスト・パターンにおける当該パターンの供出可能量(kW)		●	N(9)			
JP06613	各リスト・パターン作成支援ツール	帳票作成支援ツールバージョン(帳票作成支援ツールから自動生成)		▲	X(50)			JP06613	各リスト・パターン作成支援ツール	帳票作成支援ツールバージョン(帳票作成支援ツールから自動生成)		▲	X(50)			
						M10	9999							M10	1-100000	
JP06400	供給地点特定番号	託送供給に関わる電気を供給する地点を識別する番号		●	X(22)			JP06725	参入点	1:機器点/2:受電点		●	X(1)			
JP06120	需要家名称	需要家名称		●	X(80)			JP06726	参入点の供出方法	1:ネガワット/2:ポジワット/3:ネガポジ(機器点双方向計量器)		●	X(1)			
JP06402	供給場所	供給場所		●	X(70)			JP06727	地点名称	地点名称		●	X(80)			
JP06707	契約電力(kW)	需要家の契約電力(kW)		●	N(9)			JP06728	場所(住所)	参入地点の住所		●	X(70)			
JP06403	電圧区分	特高/高圧/低圧		●	X(4)			JP06403	電圧区分(受電点)	1:特高/2:高圧/3:低圧		●	X(1)			
JP06708	供出方法	1:需要抑制/2:電源(自家発電等)		●	X(1)			JP06729	群コード	低圧群を識別するコード		▲	X(5)			
JP06316	事業者コード	需要リソースに電気を供給している小売電気事業者を識別するコード		●	X(5)			JP06400	供給地点特定番号	託送供給に関わる電気を供給する地点を識別する番号	○	▲	X(22)			
JP06317	小売電気事業者名称	需要リソースに電気を供給している小売電気事業者名称		▲	X(50)			JP06707	契約電力(kW)	需要家の契約電力(kW)		▲	N(9)			
JP06600	類型 I ②需要抑制BGコード	需要リソースが所属する類型 I ②需要抑制/バランシンググループを識別するコード		◎	X(5)			JP06316	所属小売事業者コード	需要リソースに電気を供給している小売電気事業者を識別するコード		▲	X(5)			
						M10		JP06317	所属小売事業者名称	需要リソースに電気を供給している小売電気事業者名称		▲	X(50)			
						M11	999	JP06600	所属需要抑制BGコード	需要リソースが所属する需要抑制/バランシンググループを識別するコード	○	▲	X(5)			
JP06400	受電地点特定番号	託送供給に関わる電気を受電する地点を識別する番号		●	X(22)			JP06601	所属需要抑制BG名称	需要リソースが所属する需要抑制/バランシンググループの名称		▲	X(50)			
JP06310	発電所名称	発電所名称		●	X(80)			JP06730	受電地点特定番号	託送供給に関わる電気を受電する地点を識別する番号 ※機器点供出の場合は紐づく地点番号	○	▲	X(22)			
JP06402	所在地	発電場所		●	X(70)			JP06731	契約受電電力(kW)	発電所の契約受電電力(kW)		▲	N(9)			
JP06312	最大受電電力(kW)	発電所の契約受電電力(kW)		●	N(9)			JP06710	電源種別	1:火力/2:水力/3:太陽光/4:風力/5:地熱/6:蓄電池/7:その他		▲	X(1)			
JP06403	電圧区分	特高/高圧		●	X(4)			JP06711	発電方式	1:コンバインドサイクル/2:火力/3:ディーゼル/4:水力/5:太陽光/6:風力/7:地熱/8:蓄電池/9:その他		▲	X(1)			
JP06710	電源種別	1:火力2:水力3:太陽光4:風力5:地熱6:蓄電池7:その他		●	X(1)			JP06712	火力燃料種別	1:原油/2:重油/3:軽油/4:LNG/5:LPG/6:NGL/7:都市ガス/8:灯油/9:石炭/10:木質ペレット/11:その他		▲	X(2)			

需給調整市場各リスト・パターン等受領業務ビジネスプロトコル標準規格（旧）										需給調整市場各リスト・パターン等受領業務ビジネスプロトコル標準規格（新）										備 考
JP06711	発電方式	1:コンバインドサイクル2:汽力3:ディーゼル4:水力5:太陽光6:風力7:地熱8:蓄電池9: その他		●	X(1)					JP06186	系統コード	系統コード	○	▲	X(5)					既存のタグ名：JP06400～ タグ名：JP06186を削除し、新しくタグ名：JP06725～ タグ名：JP06712の項目を追加する
JP06712	火力燃料種別	1:原油2:重油3:軽油4:LNG5:LPG6:NGL7:都市ガス8:灯油9:石炭10:木質ペレット11: その他		●	X(2)					JP06732	所属発電事業者コード	発電リソースが所属する事業者を示すコード	○	▲	X(5)					
JP06300	発電BGコード	発電リソースが所属する発電BGを示すコード		●	X(5)					JP06733	所属発電事業者名称	発電リソースが所属する事業者の名称		▲	X(50)					
JP06301	発電BG名称	発電リソースが所属する発電BGの名称		▲	X(50)					JP06300	所属発電BGコード	発電リソースが所属する発電BGを示すコード	○	▲	X(5)					
JP06186	系統コード	系統コード		●	X(5)					JP06301	所属発電BG名称	発電リソースが所属する発電BGの名称		▲	X(50)					
								M11		JP06734	機器点特定番号	調整力に関わる電気を供出する地点を識別する番号	○	▲	X(22)					
(注1) ○：標準として定める共通コードを示す。 (注2) ●：必須項目（空欄不可、メッセージを識別するためのキー項目） ○：必須項目（空欄不可） ◎：需要抑制契約を締結している場合必須項目、需要抑制契約を締結していなければ空欄 ▲：任意項目（項目使用、空欄許容）										JP06735	再エネ対象電源の有無	当該地点に再生可能エネルギーの固定価格買取制度の対象電源の有無 0:無/1:有		▲	X(1)					
										JP06768	揚水等特措の適用有無	揚水発電設備等が設置された需要場所へ接続供給を行なう場合の特別措置の適用有無 0:無/1:有		●	X(1)					
										JP06736	相数1	0:変圧器無し/1:単相/2:三相 ※受電点高圧以上機器点の場合登録必要		▲	X(1)					
										JP06737	一次電圧1	整数 ※相数1が“1”or“2”の場合登録必要(V)		▲	N(7)					
										JP06738	二次電圧1	整数 ※相数1が“1”or“2”の場合登録必要(V)		▲	N(7)					
										JP06739	容量1	整数 ※相数1が“1”or“2”の場合登録必要(kVA)		▲	N(7)					
										JP06740	変圧器ロス1	整数 ※相数1が“1”or“2”の場合登録必要(%)		▲	N(2)/V(3)					
										JP06741	相数2	0:変圧器無し/1:単相/2:三相 ※受電点高圧以上機器点の場合登録必要		▲	X(1)					
										JP06742	一次電圧2	整数 ※相数2が“1”or“2”の場合登録必要(V)		▲	N(7)					
										JP06743	二次電圧2	整数 ※相数2が“1”or“2”の場合登録必要(V)		▲	N(7)					
										JP06744	容量2	整数 ※相数2が“1”or“2”の場合登録必要(kVA)		▲	N(7)					
										JP06745	変圧器ロス2	整数 ※相数2が“1”or“2”の場合登録必要(%)		▲	N(2)/V(3)					
																M10				
(注1) ○：標準として定める共通コードを示す。 (注2) ●：必須項目（空欄不可、メッセージを識別するためのキー項目） ○：必須項目（空欄不可） ▲：任意項目（項目使用、空欄許容）										需要抑制契約を締結している場合の条件を削除。 表3－1 1－2を削除。										

表3－1 1－2 三次調整力②各リスト・パターン関係メッセージのデータ要素							
タグ名	データ要素名	説明	共通コード (注3)	使用区分(注4)	属性	繰り返し	
						番号	最大回数
JP00002	情報区分コード	メッセージの種類および需給調整市場の商品区分を示すコード ・0232:各リスト・パターン(三次②)	○	●	X(4)		
JP06170	情報区分名称	メッセージの種類および需給調整市場の商品区分の名称		▲	X(50)		
JP06110	送信者コード	当該ファイルを送信する事業者を示すコード	○	●	X(5)		
JP06111	送信者名称	当該ファイルを送信する事業者の名称		▲	X(50)		
JP06358	提出先事業者コード	当該ファイルを需給調整市場から転送する一般送配電事業者を示すコード	○	●	X(5)		
JP06359	提出先事業者	名称当該ファイルを需給調整市場から転送する一般送配電事業者の名称		▲	X(50)		
JP06700	アグリゲーションコーディネータ用系統コード	アグリゲーションコーディネータ用系統コード		○	X(5)		
JP06701	アグリゲーションコーディネータ名称	アグリゲーションコーディネータ名称		▲	X(50)		
JP06171	対象期間開始希望年月日	各リストの適用開始を希望する年月日 YYYYMMDD		●	Y(8)		
JP06703	パターン番号	各リスト・パターンのパターン番号を示すコード(01～20)		●	x (2)		
JP06706	各リスト・パターン供出可能量	各リスト・パターンにおける当該パターンの供出可能量(kW)		●	N(9)		
JP06613	各リスト・パターン作成支援ツール	帳票作成支援ツールバージョン(帳票作成支援ツールから自動生成)		▲	X(50)		
						M10	9999
JP06400	供給地点特定番号	託送供給に関わる電気を供給する地点を識別する番号		●	X(22)		
JP06120	需要家名称	需要家名称		●	X(80)		
JP06402	供給場所	供給場所		●	X(70)		
JP06707	契約電力(kW)	需要家の契約電力(kW)		●	N(9)		

需給調整市場各リスト・パターン等受領業務ビジネスプロトコル標準規格（旧）								需給調整市場各リスト・パターン等受領業務ビジネスプロトコル標準規格（新）								備 考
JP06403	電圧区分	特高/高圧/低圧		●	X(4)											表3－1 1－2を 削除。
JP06708	供出方法	1:需要抑制2:電源（自家発等）		●	X(1)											
JP06316	事業者コード	需要リソースに電気を供給している小売電気事業者を識別するコード		●	X(5)											
JP06317	小売電気事業者名称	需要リソースに電気を供給している小売電気事業者名称		▲	X(50)											
JP06600	類型 I ②需要抑制BGコード	需要リソースが所属する類型 I ②需要抑制/バランシンググループを識別するコード		◎	X(5)											
						M10										
						M11	999									
JP06400	受電地点特定番号	託送供給に関わる電気を受電する地点を識別する番号		●	X(22)											
JP06310	発電所名称	発電所名称		●	X(80)											
JP06402	所在地	発電場所		●	X(70)											
JP06312	最大受電電力 (kW)	発電所の契約受電電力 (kW)		●	N(9)											
JP06403	電圧区分	特高/高圧		●	X(4)											
JP06710	電源種別	1:火力2:水力3:太陽光4:風力5:地熱6:蓄電池7:その他		●	X(1)											
JP06711	発電方式	1:コンバインドサイクル2:汽力3:ディーゼル4:水力5:太陽光6:風力7:地熱8:蓄電池9:その他		●	X(1)											
JP06712	火力燃料種別	1:原油2:重油3:軽油4:LNG5:LPG6:NGL7:都市ガス8:灯油9:石炭10:木質ペレット11:その他		●	X(2)											
JP06300	発電BGコード	発電リソースが所属する発電BGを示すコード		●	X(5)											
JP06301	発電BG名称	発電リソースが所属する発電BGの名称		▲	X(50)											
JP06186	系統コード	系統コード		●	X(5)											
						M11										
(注3) ○：標準として定める共通コードを示す。																
(注4) ●：必須項目（空欄不可、メッセージを識別するためのキー項目）																
○：必須項目（空欄不可）																
◎：需要抑制契約を締結している場合必須項目、需要抑制契約を締結していなければ空欄																
▲：任意項目（項目使用、空欄許容）																
3. 11 XML データの検証								3. 11 XML データの検証								
本標準では、XML形式を採用するため、W3Cで策定されているXML schemaを提供する。XML schemaはXMLデータの構造を定義するスキーマ言語である。これを使用することで、XMLデータに出現する要素や属性、その順序などを検証することが可能となる。検証例を表3－12に示す。								本標準では、XML形式を採用するため、W3Cで策定されているXML Schemaを提供する。XML SchemaはXMLデータの構造を定義するスキーマ言語である。これを使用することで、XMLデータに出現する要素や属性、その順序などを検証することが可能となる。検証例を表3－12に示す。								

需給調整市場各リスト・パターン等受領業務ビジネスプロトコル標準規格（旧）			需給調整市場各リスト・パターン等受領業務ビジネスプロトコル標準規格（新）			備 考
表3－12 XML Schemaでの検証例			表3－12 XML Schemaでの検証例			
検証項目		検証例	検証項目		検証例	
データ構造	タグ名称	〈12345〉が正しいところ、〈54321〉となっていた。	データ構造	タグ名称	〈12345〉が正しいところ、〈54321〉となっていた。	
	必須要素	〈12345〉は必須項目だが、XMLデータ内になかった。		必須要素	〈12345〉は必須項目だが、XMLデータ内になかった。	
	不要要素	定義されていないタグが含まれていた。		不要要素	定義されていないタグが含まれていた。	
	繰返し	〈12345〉は繰返し不可として定義されているが、複数定義されていた。		繰返し	〈12345〉は繰返し不可として定義されているが、複数定義されていた。	
	要素出現順序	〈M1〉→〈M2〉の順番が、〈M2〉→〈M1〉のようにになっている。		要素出現順序	〈M1〉→〈M2〉の順番が、〈M2〉→〈M1〉のようにになっている。	
データ属性	許可文字	数字のみに限定されたデータ要素に、英字が混在された。	データ属性	許可文字	数字のみに限定されたデータ要素に、英字が混在された。	
	桁数	6桁の数字で記述するよう定義されているが、8桁の値が定義されていた。 ※数値データのみ対象		桁数	6桁の数字で記述するよう定義されているが、8桁の値が定義されていた。 ※数値データのみ対象	
	範囲	整数値をとるよう定義されているが、負の値が定義されていた。		範囲	整数値をとるよう定義されているが、負の値が定義されていた。	
共通コード	未定義コード	定義されていないコード値を使用している。	共通コード	未定義コード	定義されていないコード値を使用している。	

需給調整市場各リスト・パターン等受領業務ビジネスプロトコル標準規格（旧）		需給調整市場各リスト・パターン等受領業務ビジネスプロトコル標準規格（新）		備考
3. 11. 1 XML Schemaの設計規則		3. 11. 1 XML Schemaの設計規則		
表 3－13に示すXML schemaの設計規則(Naming & Design Rule:以下NDR)に従い、XML schemaを作成する。		表 3－13に示すXML Schemaの設計規則(Naming & Design Rule:以下NDR)に従い、XML Schemaを作成する。		
表3－13 メッセージファイル名称付与規則		表3－13 メッセージファイル名称付与規則		
規則	URL	規則	URL	
XML 1.0	http://www.w3.org/TR/REC-xml	XML 1.0	http://www.w3.org/TR/REC-xml	
XML Schema Part 0: Primer	http://www.w3.org/TR/xmlschema-0/	XML Schema Part 0: Primer	http://www.w3.org/TR/xmlschema-0/	
XML schema Part1:Structures	http://www.w3.org/TR/xmlschema-1/	XML Schema Part1:Structures	http://www.w3.org/TR/xmlschema-1/	
XML schema Part2:DataTypes	http://www.w3.org/TR/xmlschema-2/	XML Schema Part2:DataTypes	http://www.w3.org/TR/xmlschema-2/	
3. 11. 2 XML Schemaの名前空間		3. 11. 2 XML Schemaの名前空間		
名前空間を宣言部で指定する。		名前空間を宣言部で指定する。		
http://www.w3.org/2001/XMLSchema		http://www.w3.org/2001/XMLSchema		
3. 11. 3 XML Schemaの構造		3. 11. 3 XML Schemaの構造		
XML Schemaの構造を図3－6に示す。		XML Schemaの構造を図3－6に示す。		
宣言部 ルート部 メッセージグループヘッダ 業務メッセージ		宣言部 ルート部 メッセージグループヘッダ 業務メッセージ		
図3－6 本標準におけるXML Schemaの構造		図3－6 本標準におけるXML Schemaの構造		
3. 11. 4 XML Schemaのファイル名		3. 11. 4 XML Schemaのファイル名		
XMLスキーマのファイル名は以下の通り。		XMLスキーマのファイル名は以下の通り。		
[BPID機関コード]-[BPID副機関コード]-[情報区分コード]-[XMLスキーマバージョン]+“.xsd”		[BPID機関コード]-[BPID副機関コード]-[情報区分コード]-[XMLスキーマバージョン]+“.xsd”		
（例）需給調整市場週間市場商品各リストパターンのXMLスキーマ:OCTO-W9-0231-001.xsd		（例）需給調整市場各リスト・パターンのXMLスキーマ:OCTO-W9-0232-001.xsd		
（例）需給調整市場三次調整力②各リストパターンのXMLスキーマ:OCTO-W9-0232-001.xsd				

XMLスキーマのファイル名の例示を「需給調整市場各リスト・パターンのXMLスキーマ:OCTO-W9-0232-001.xsd」に一本化。

需給調整市場各リスト・パターン等受領業務ビジネスプロトコル標準規格（旧）		需給調整市場各リスト・パターン等受領業務ビジネスプロトコル標準規格（新）		備考
3. 11. 5 XML Schemaによるデータ要素の定義例				
(a) 属性の定義例(表3－14)				
表3－14 属性の定義例				
属性	属性表記	定義例		
符号無数値データ (整数)	9(n) n:桁数	<code><xsd:restriction base="xsd:nonNegativeInteger"></code> <code><xsd:totalDigits value="n"/></code> <code></xsd:restriction></code>		
符号付数値データ (整数)	N(n) n:桁数	<code><xsd:restriction base="xsd:integer"></code> <code><xsd:totalDigits value="n"/></code> <code></xsd:restriction></code>		
符号付数値データ (小数)	N(n)V(m) n:整数部桁数 m:小数部桁数	<code><xsd:restriction base="xsd:decimal"></code> <code><xsd:minInclusive value="-n個の9.m個の9"/></code> <code><xsd:maxInclusive value="n個の9.m個の9"/></code> <code><xsd:fractionDigits value="m"/></code> <code></xsd:restriction></code>		
(b) 共通コードの定義例(表3－15)				
表3－15 共通コードの定義例				
データ要素	定義例			
共通コード	<code><xsd:restriction base="xsd:String"></code> <code><xsd:enumeration value="001"/></code> <code><xsd:enumeration value="002"/></code> <code><xsd:enumeration value="003"/></code> <code></xsd:restriction></code>			
(c) 繰返しの定義例(表3－16)				
表3－16 繰返しの定義例				
繰返し回数	定義例			
0	minOccurs=0、maxOccurs=0			
1	minOccurs=1、maxOccurs=1又は省略			
0又は1	minOccurs=0、maxOccurs=1			
0 ～ n (n≧0)	minOccurs=0、maxOccurs=n			
m ～ n (n≧m≧0)	minOccurs=m、maxOccurs=n			
出現回数が無制限の場合	maxOccurs=unbounded			

3. 11. 5 XML Schemaによるデータ要素の定義例				
(a) 属性の定義例(表3－14)				
表3－14 属性の定義例				
属性	属性表記	定義例		
符号無数値データ (整数)	9(n) n:桁数	<code><xsd:restriction base="xsd:nonNegativeInteger"></code> <code><xsd:totalDigits value="n"/></code> <code></xsd:restriction></code>		
符号付数値データ (整数)	N(n) n:桁数	<code><xsd:restriction base="xsd:integer"></code> <code><xsd:totalDigits value="n"/></code> <code></xsd:restriction></code>		
符号付数値データ (小数)	N(n)V(m) n:整数部桁数 m:小数部桁数	<code><xsd:restriction base="xsd:decimal"></code> <code><xsd:minInclusive value="-n個の9.m個の9"/></code> <code><xsd:maxInclusive value="n個の9.m個の9"/></code> <code><xsd:fractionDigits value="m"/></code> <code></xsd:restriction></code>		
(b) 共通コードの定義例(表3－15)				
表3－15 共通コードの定義例				
データ要素	定義例			
共通コード	<code><xsd:restriction base="xsd:String"></code> <code><xsd:enumeration value="001"/></code> <code><xsd:enumeration value="002"/></code> <code><xsd:enumeration value="003"/></code> <code></xsd:restriction></code>			
(c) 繰返しの定義例(表3－16)				
表3－16 繰返しの定義例				
繰返し回数	定義例			
0	minOccurs=0、maxOccurs=0			
1	minOccurs=1、maxOccurs=1又は省略			
0又は1	minOccurs=0、maxOccurs=1			
0 ～ n (n≧0)	minOccurs=0、maxOccurs=n			
m ～ n (n≧m≧0)	minOccurs=m、maxOccurs=n			
出現回数が無制限の場合	maxOccurs=unbounded			

需給調整市場各リスト・パターン等受領業務ビジネスプロトコル標準規格（旧）

4. ビジネス運用規則

4. 1 メッセージ

4. 1. 1 メッセージファイルの構成単位

メッセージファイルの構成単位を表4－1に示す。

表4－1 メッセージファイルの構成単位

メッセージ名称	説明（注）
週間市場商品 各リスト・パターン メッセージ	1つの週間市場商品の各リスト・パターンメッセージで1ファイルを構成する。
三次調整力② 各リスト・パターン メッセージ	1つの三次調整力②の各リスト・パターンメッセージで1ファイルを構成する。

(注)メッセージを分割して複数のファイルを構成することは不可とする。

4. 1. 2 メッセージファイル名称付与規則

メッセージファイルの名称付与規則を、図4－1、表4－2に示す。なお、実際のメッセージファイル名は各項目間を半角アンダーバーで区切り、拡張子は” . xml” とする。

各リスト・パターン関係ファイル

BPID副機関コード	情報区分コード	対象年月日	アグリゲーション コーディネータ用 系統コード	各リスト・パターン の 対象パターン番号	電源等コード
------------	---------	-------	-------------------------------	----------------------------	--------

図4－1 メッセージファイル名称構成

表4－2 メッセージファイル名称付与規則

項目	属性	内容
BPID副機関コード	X(2)	需給調整市場における基準値計画および各リスト・パターン等受領業務を示す“W9”固定。
情報区分コード	X(4)	商品区分に応じて情報区分コードを設定する。 ・需給調整市場週間市場商品各リスト・パターンを示す“0231” ・需給調整市場三次調整力②各リスト・パターンを示す“0232”
対象年月日	Y(8)	当該メッセージが対象とする時期の開始年月日(YYYYMMDD)を設定 対象日が2021年4月3日の場合 “20210403”
アグリゲーションコーディネータ 用系統コード	X(5)	ファイルを送信するアグリゲーションコーディネータを示すコード (アグリゲーションコーディネータ用系統コードの2桁目“Y”)
各リスト・パターンの対象パター ン番号	X(2)	各リスト・パターンにおいて選択したパターンを設定 (パターン①の場合, ”01”)
電源等コード	X(1)～X(10)	需給調整市場システムへ登録したリソースを示すコード。

需給調整市場各リスト・パターン等受領業務ビジネスプロトコル標準規格（新）

4. ビジネス運用規則

4. 1 メッセージ

4. 1. 1 メッセージファイルの構成単位

メッセージファイルの構成単位を表4－1に示す。

表4－1 メッセージファイルの構成単位

メッセージ名称	説明（注）
各リスト・パターン メッセージ	1つの各リスト・パターンメッセージで1ファイルを構成する。

(注)メッセージを分割して複数のファイルを構成することは不可とする。

4. 1. 2 メッセージファイル名称付与規則

メッセージファイルの名称付与規則を、図4－1、表4－2に示す。なお、実際のメッセージファイル名は各項目間を半角アンダーバーで区切り、拡張子は” . xml” とする。

各リスト・パターン関係ファイル

BPID副機関コード	情報区分コード	対象年月日	アグリゲーション コーディネータ用 系統コード	各リスト・パターン の 対象パターン番号	電源等コード
------------	---------	-------	-------------------------------	----------------------------	--------

図4－1 メッセージファイル名称構成

表4－2 メッセージファイル名称付与規則

項目	属性	内容
BPID副機関コード	X(2)	需給調整市場における基準値計画および各リスト・パターン等受領業務を示す“W9”固定。
情報区分コード	X(4)	当該計画の種別を示すコード。“0232”(各リスト・パターン)固定。
対象年月日	Y(8)	当該メッセージが対象とする時期の開始年月日(YYYYMMDD)を設定 対象日が2021年4月3日の場合 “20210403”
アグリゲーションコーディネータ 用系統コード	X(5)	ファイルを送信するアグリゲーションコーディネータを示すコード (アグリゲーションコーディネータ用系統コードの2桁目“Y”)
各リスト・パターンの対象パター ン番号	X(2)	各リスト・パターンにおいて選択したパターンを設定 (パターン①の場合, ”01”)
電源等コード	X(1)～X(10)	需給調整市場システムへ登録したリソースを示すコード。

メッセージ
ジファイ
ルの構
成
単
位
を、
各
リ
ス
ト
・
パ
タ
ー
ン
メ
ッ
セ
ー
ジ
へ
統
合
。

メ
ッ
セ
ー
ジ
フ
ァ
イ
ル
名
称
付
与
規
則
の
情
報
区
分
コ
ー
ド
の
内
容
を
変
更
。

需給調整市場各リスト・パターン等受領業務ビジネスプロトコル標準規格（旧）					需給調整市場各リスト・パターン等受領業務ビジネスプロトコル標準規格（新）					備考		
4. 1. 3 メッセージの変更・取消の運用 各リスト・パターン等受領において、メッセージ内のキー項目以外のデータ要素値を変更する場合は、当該データ要素値を変更後、変更前のメッセージファイル名と同じメッセージファイルを作成する。（表4－3、図4－1）なお、当該メッセージが変更されたものかどうかは、前回受信したメッセージを元に受信者が判断する。 また、キー項目のデータ要素値を変更する方法およびメッセージを取り消す方法は規定しない。 表4－3 メッセージの変更例					4. 1. 3 メッセージの変更・取消の運用 各リスト・パターン等受領において、メッセージ内のキー項目以外のデータ要素値を変更する場合は、当該データ要素値を変更後、変更前のメッセージファイル名と同じメッセージファイルを作成する。（表4－3、図4－1）なお、当該メッセージが変更されたものかどうかは、前回受信したメッセージを元に受信者が判断する。 また、キー項目のデータ要素値を変更する方法およびメッセージを取り消す方法は規定しない。 表4－3 メッセージの変更例					メッセージの変更・取消の運用の見直しによる変更。		
	項目	変更前	1回目の変更	2回目の変更		項目	変更前	1回目の変更	2回目の変更			
各リスト・パターン等受領	メッセージファイル名	W9_0232_20210403_3Y335_08_MMS.xml	変更前と同一	変更前と同一	各リスト・パターン等受領	メッセージファイル名	W9_0232_20210403_3Y335_08_MMS.xml	変更前と同一	変更前と同一			
	データ要素	キー項目	－	変更前と同一内容		変更前と同一内容	データ要素	キー項目	－		変更前と同一内容	変更前と同一内容
		変更するデータ要素	－	変更後の内容		変更後の内容		変更するデータ要素	－		変更後の内容	変更後の内容
		変更しないデータ要素	－	変更前と同一内容		変更前と同一内容		変更しないデータ要素	－		変更前と同一内容	変更前と同一内容
＜変更前＞ 変更前メッセージ リスト【W9_0232_20210403_3Y335_08_MMS】 キー項目 キー項目以外					＜変更前＞ 変更前メッセージ リスト【W9_0232_20210403_3Y335_08_MMS】 キー項目 キー項目以外							
＜1回目の変更＞ 1回目の変更後メッセージ リスト【W9_0232_20210403_3Y335_08_MMS】 キー項目 キー項目以外 変更項目 未変更項目					＜1回目の変更＞ 1回目の変更後メッセージ リスト【W9_0232_20210403_3Y335_08_MMS】 キー項目 キー項目以外 変更項目 未変更項目							
＜2回目の変更＞ 2回目の変更後メッセージ リスト【W9_0232_20210403_3Y335_08_MMS】 キー項目 キー項目以外 変更項目 未変更項目					＜2回目の変更＞ 2回目の変更後メッセージ リスト【W9_0232_20210403_3Y335_08_MMS】 キー項目 キー項目以外 変更項目 未変更項目							
リストは需要家リスト・パターン、各リスト・パターン等受領を表す。 【 】内はメッセージファイル名を示す(拡張子は除く) 図4－1 メッセージの変更イメージ 以上					リストは需要家リスト・パターン、各リスト・パターン等受領を表す。 【 】内はメッセージファイル名を示す(拡張子は除く) 図4－1 メッセージの変更イメージ 以上							